

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	つや出し鏡面仕上げ剤 (ウレタン塗膜/フッソクリヤー塗膜艶出し剤) 高硬度塗膜対応
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3F
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M220407

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険 性健康有害性	引火性液体 区分に該当しない 皮膚腐食性/刺激性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 精巣 肺)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外)か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

警告
H315 皮膚刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、精巣、肺の障害のおそれ
H401 水生生物に毒性
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 安全対策

ガスを吸入しないこと。(P260)
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
粉じん/煙を吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)

応急措置

環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
(P302+P352)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
(P314)
特別な処置が必要である。(P321)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

漏出物を回収すること。(P391)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
SDS3法対象成分は下記参照(注1)					

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

ミネラルスピリット(ミネラルシンナー、ペトリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。)(法令指定番号：551)(20%～30%)

酸化アルミニウム(法令指定番号：189)(1%～10%)

酸化チタン(IV)(法令指定番号：191)(1%未満)

4. 応急措置

吸入した場合

蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

呼吸困難または呼吸が停止しているときは、直ちに人工呼吸を行い、速やかに医師の手当てを受ける。

汚染された作業服、靴等は速やかに脱ぐ。

多量の水と石鹼で洗う。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合には医師の診断を受ける。

眼に入った場合

眼をこすったり固く閉じさせてはならない。

直ちに清浄な流水で15分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球とまぶたのすみずみにまで水がよくいきわたるように洗浄する。

コンタクトレンズ着用の場合は、容易であれば外して洗浄する。

飲み込んだ場合

水で口をすすぐ。

無理に吐かせてはいけない。

被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

直ちに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具を着用する。(8.暴露防止及び保護措置の項を参照)

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

周辺火災に適した消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の消火方法

指定の消火剤を使用する。
消火活動は風上から行う。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
周囲の設備などに散水して冷却する。
適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火活動を行う者の特別な
保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保
護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

環境に対する注意事項

作業の際には適切な保護具を着用する。(8.ばく露防止
及び保護措置の項を参照)

封じ込め及び浄化の方法及
び機材

関係者以外は近づけない。

二次災害の防止策

漏出した物質が下水や排水溝へ流出、また地下へ浸透
することを防止する。

砂・布などに吸収させて密閉できる容器に回収する。

付着物・廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行
い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

取扱いの終了の都度、容器を密閉する。
取扱う前に、本SDSの安全注意を読み理解する。
取扱い後には身体、顔、手、眼等をよく洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉する。
直射日光を避け、換気の良い場所(冷暗所等)に保管す
る。
凍結させないように保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ミネラルスピリット	未設定	未設定	TWA 100 ppm, STEL -
酸化チタン(IV)	未設定	0.3mg/m ³ ;【粉塵許容濃 度】(第2種粉塵) 吸入性 粉塵1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 10 mg/m ³ , STEL -
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種 粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	未設定

設備対策

研磨作業等で粉塵などが発生する場合は、吸入を避け
るために排気用の換気を行う。
取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗顔設備を
設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具

防塵マスクを着用する。

手の保護具

不浸透性の保護手袋(ゴム手袋等)を着用する。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型等)を着用
する。

皮膚及び身体の保護
具

作業着、長靴、前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
形状
色
臭い
融点／凝固点
沸点又は初留点及び沸点範囲
可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
引火点
自然発火点
分解温度
pH
動粘性率
溶解度
n-オクタノール／水分配係数

液体
液体
淡黄色
溶剤臭
データなし
データなし
データなし
データなし
引火点なし(クリーブランド開放式)
データなし
データなし
約9.1
データなし
水に分散する
データなし

蒸気圧
密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

データなし
約1.0
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

情報なし
通常取り扱い条件においては安定である。
情報なし。
情報なし。
情報なし
情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性／刺激性 区分2の成分合計が10%以上のため、区分2に該当する。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

呼吸器感作性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

皮膚感作性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

生殖細胞変異原性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

発がん性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

生殖毒性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)の成分合計が20%以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)の成分合計が20%以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓)の成分が10%以上のため、区分2(肝臓)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(精巣)の成分が10%以上のため、区分2(精巣)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(吸入:肺)の成分が1%以上10%未満のため、区分2(吸入:肺)に該当する。

誤えん有害性

危険有害性に該当する成分を濃度限界以上含有していないこと、毒性未知成分を含有していることより、分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

(毒性乗率×10×区分1)+区分2の濃度合計が25%以上のため、水生環境有害性 短期(急性)区分2に該当する。

水生環境有害性 長期(慢性)

(毒性乗率×10×区分1)+区分2の濃度合計が25%以上のため、水生環境有害性 長期(慢性)区分2に該当する。

生態毒性

利用可能な情報なし

残留性・分解性

利用可能な情報なし

生体蓄積性

利用可能な情報なし

土壤中の移動性

利用可能な情報なし

オゾン層への有害性

利用可能な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

UN No.

3082

Proper Shipping Name

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.

Class

9

Packing Group

III

Marine Pollutant

Applicable

Liquid Substance

Not applicable

Transported in Bulk

According to MARPOL

73/78, Annex II, the

IBC Code

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.

3082

	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
	Class	9
国内規制	Packing Group	III
	陸上規制	消防法、道路法等の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	国連分類	9
	容器等級	III
	海洋汚染物質	該当
	MARPOL 73/78 附属 書II 及びIBC コードに よるばら積み輸送され る液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	国連分類	9
	等級	III
特別の安全対策		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転 倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を 確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号		171
15. 適用法令		
労働安全衛生法		第3種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒 予防規則第1条第1項第5号) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1 項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の 2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ・ミネラルスピリット(ミネラルシンナー、ペトロリウムスピ リット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。) (法令指定番号:551)(20%~30%) ・酸化アルミニウム(法令指定番号:189)(1%~10%) ・酸化チタン(IV)(法令指定番号:191)(1%未満)
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進 法(PRTR法)		非該当
水質汚濁防止法		指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
消防法		非危険物
船舶安全法		有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法		その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表 第1)
水道法		有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101 号)
労働基準法		がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条 別表第1の2第7号)
16. その他の情報		
参考文献		日本ケミカルデータベース株式会社 データベース 使用原料SDS JIS Z7253:2019 JIS Z7252:2019

その他

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。

注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

成分情報及び適用法令の詳細につきましては、弊社営業へ別途お問い合わせください。

(注1) SDS3法とは、化学物質排出把握管理促進法(P-RTR法)、労働安全衛生法(第57条の2)、毒物及び劇物取締法を指します。